

## ◇高岡教区仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟

## 合同実践運動研修会開催

去る八月二十九日（火）午後一時三十分より高岡教区仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟合同実践運動研修会が開催された。

本研修会は毎年一回、仏教婦人会連盟と寺院女性化連盟が合同で行っている研修会で、昨今のコロナウイルスによるパンデミックで二〇二〇年の開催から研修会開催が延期されていた。ようやくコロナウイルス感染症が第二類感染症から第五類感染症へと変更がなされたことにより通常通り開催することができた。

今年度のテーマは、二〇二一年度の教区統一テーマであった『新型コロナウイルス流行下の組・寺院活動



「大切にすべきもの」と「改めていくべきもの」を考える」に設定して研修会を行った。ご講師も二〇二一年度に予定であった、「実践運動」教区委員会常任委員の栗山宣雄さん（川上組本福寺）と林史樹さん（伏木組要願寺）をお願いし、二年越しの研修会となったことである。

研修会は、仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟合わせて七十六名が参加し、林史樹さんの問題提起のあと、分散会を開催、八班に分かれて理解を深め、最後に、全体会では、各班からの意見集約をもとにご講師の栗山さんから助言がなされた。

各班からは、『コロナ感染症よって、命の大切さを改めて感じ、積極的にご参りするようになった』『コロナ禍で、家族葬しかできず、残念だった』などいろいろな意見が出され、講師からは寺院も門信徒も自らを考えること、一人ひとりが「生きる」とは」を考えるようになった。そして寺院・僧侶は、多様な対応が求められていく時代である。私が「教え」の前に立っているという事実、一人ひとりの人生の苦悩に向き合える宗教的な知識や、社会問題に対する知識や考え方が求められる等の助言がなされた。数年ぶりに開催の合同研修会であったが、多くの方にご参加いただき盛況な研修会となった。

## ★高岡教区が本山杯奪還と十四年ぶりに本願寺に勝利

～本山杯野球大会～！

八月二十六日（土）、第五七回本山杯寺族青年野球大会（高岡教区担当）が高岡龍谷高校グラウンドにて開催され、寺族青年の親睦とともに熱戦が繰り広げられた。今大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により四年ぶりに開催され、京都より本願寺チーム、富山教区本願寺クレシヤース、高岡教区野球チームが、計三試合（富山教区とは本山杯、本願寺とは交流戦）を戦った。

メインの試合である富山教区本願寺クレシヤースとの本山杯では、終盤までもつれた試合は最終回に打線が繋がり、三点を取って富山教区本願寺クレシヤースを突き放し、七対三で高岡教区野球チームが勝利。二大会ぶりに本山杯を手にする事ができた。今年の高岡教区野球チームは、十一名と少ないながらも初参加の三名がチームに勢いをつけ、長年勝つことができなかった本願寺チームとの試合でも七対五で二〇〇九年以来の勝利をすることができた。また、富山教区本願寺クレシヤースも本願寺チームに八対七で勝利した。

尚、本山杯 MVP には、二試合の打率八割三分三厘というハイアベレージを残し、守備では難しい打球を何度かさばきチームに勢いをつけた山崎湧斗遊撃手（氷見組明善寺※初参加）が、敢闘賞には本願寺チーム戦で先発し、今大会最長のホームランを放つ



た五十田秀慧主将（砺波組安詳寺）が選ばれた。

大会終了後、夕方より、本山、富山、高岡の各教区野球部関係者による表彰式と交歓会が開催され、大いに盛り上がり、お互いの健闘を称えあつた。

次回も二勝を目指して富山教区担当で二〇二四年八月最終土曜に行なわれる予定。

### ▽高岡教区教務所職員の退職について

高岡教区教務所職員、寺田哲英（水波組金像寺）ですが、退職願が提出され、八月十日付をもって退職されましたのでお知らせいたします。

### ○浄土真宗本願寺派たすけあい運動募金

「ハワイ・マウイ島大規模火災 災害義援金」募集について

八月二十四日付、宗派社会部・災害対策担当より、別紙の通り、災害義援金募集について協力依頼がありました。この度は、高岡教区災害対策委員会を経由せず、直接宗派たすけあい募金へご協力をお願いいたします。同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、別紙記載の銀行振込口座へお願いいたします。

### ☆お知らせ☆

高岡教務所では今年度もカレンダーの注文を受け承ります。お電話で注文頂ければご寺院宛に配達を致します。

※担当の北鹿渡までご連絡ください。

○法語カレンダー 150円

○ほのぼのカレンダー150円

○月々のことば 1000円

○心に響くことば 140円

## ◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

### ―関東大震災の教訓―

一九二三年九月一日に発生した関東大震災から百年を迎えました。人口密集地である首都圏を直撃し、地震に伴う大規模な火災が何日にも渡って発生したため死者・行方不明者は推定で十萬五千人と、被災者は百九十万人あまりと、現在までに日本国内においては最も被害を出した震災です。

この震災では「朝鮮人が放火や略奪を行っている」「朝鮮人が井戸に毒を投げ込んでいる」とのデマが広まり、各地で軍や警察の一部、自警団を結成した民間人によって多数の在日朝鮮人の方々や在日中国人・日本人もが殺害されたことはご存知の方も多いことかと思われまます。被害者は資料によって異なりますが、内閣府が公表している「災害教訓の継承に関する専門調査会報告書 1923 関東大震災」では「殺傷事件による犠牲者の正確な数は掴めないが、震災による死者数の一〇数パーセントにあたり、人的損失の原因として軽視できない」と相当な数の被害者がいることを指摘しています。また、「官憲、被災者や周辺住民による殺傷行為が多数発生した。武器を持った多数者が非武装の少数者に暴行を加えたあげくに殺害するという虐殺という表現が妥当する例が多かった。」とその凄惨さを表現しています。

それらの行為の引き金となったデマがどのように発生したのかは、震災発生当初に内務省警保局や警視庁といった治安当局が「朝鮮人が放火を行っているため取り締まりを強化すべし」という旨の通達を出し、新聞もそれに乗じた報道をし、それらをもとにして人づてで不確かな伝聞が拡散していったことなどが原因として考えられています。(放火や毒の投げ入れの事実は無かったことが当時の調査で早い段階で判明しています。)

しかし、そのデマを生み出す背景となったのは当時、日本が朝鮮を支配し、その植民地支配に対する抵抗運動に直面して恐怖感や警戒心を抱いていたという政治情勢と、もともとあった朝鮮人の方々に対する差別

や偏見、無理解であったことは先に紹介した内閣府の資料だけでなく、様々な識者や研究機関によって指摘されているところです。

また、それらの殺傷事件の多くは摘発されることもなく、加害者が実際に刑事罰を受けた例はごく一部に留まります。それは当時の治安当局の検挙方針として「情状酌量すべき点が少なからずあり、全員を検挙せず、顕著な例のみに限定すること」「ただし警察権に抵抗した者の検挙は厳正に行う」(「関東戒厳司令部詳報」と公権力に対して明確に反抗した事件を重点的に検挙する、という方針であったことが明らかとなります。そのため、実際に検挙されたのは現場で警察官が静止していたにも関わらず、香川県からの行商人の一行十五名が「朝鮮人である」として民間人の自警団に暴行を受け、妊婦や子どもを含む九名が殺害された福田村事件や、群衆や自警団が警察署を襲撃して署内に保護されていた朝鮮人十七名を殺害した藤岡事件などの一部に留まっています。

これらの百年前に起こった事件や問題は今の私たちには無関係なことなのでしょうか？私はそうは思えません。東日本大震災の際には特定の国籍や人種に対する意図的なデマがSNSを通じて拡散されていたことが明らかとなつていきますし、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行時には、特定の国籍の人々や感染した方やその家族に対する様々な差別・偏見による心無い行為があつたことは記憶に新しいことと思われまます。いざ何かあれば真っ先に社会的に弱い立場の人間が攻撃や迫害の対象となつてしまふ構造は現在も変わりません。偏見や差別は「気にしなければいい」と気の持ちようであらうで済むような問題ではなく、命すら奪うような残酷で深刻な問題です。関東大震災の教訓は防災面だけでなく、私たちが持つ差別や偏見がどのような恐ろしい結果をもたらしてしまうのかということではないでしょうか。そのような私たちの抱える暗闇を明らかにし、それを乗り越えていく道を示されたのが、反差別の教えである仏教であり阿弥陀如来の教えだといわれています。阿弥陀如来の教えをよりどころとした差別・被差別からの解放という喫緊の課題にとり組み取り組んで参りましょう。

【高岡教区教務所 主幹 岡西好持】

◇これからの日程（9/13～10/31）◇

9月	教区・財団行事	教化団体・組行事
13		仏婦広報専門委員会
14	常例法座	
18	千鳥ヶ淵法要団参	
19		宗派組織教化オンライン会議
20	聖典セミナー	
21	僧侶研修会（第3回）	
26		連研活動推進協議会
27		中部・北陸仏教婦人会大会（岐阜）（28）
28		教学研修室
29		仏壮連絡協議会（福井web）
30		北同推研修会 射水組慶讃法要（光源寺）
10月		
2	高岡教区教務所職員研修（3） ※教務所は2日・3日臨時休業します。	
6		ビハ1ラサロン
7		仏壮セミナー（石川）
10		コーラス
14	常例法座	
20	聖典セミナー	
24		コーラス

ラジオ放送（西本願寺の時間）

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00（6:10）

●10月8日（日）

安居 美可子 師

（高岡教区）

●10月22日（日）

山岸 智史 師

（高岡教区）

※西本願寺が主催し「北日本放送（KNB）」にて放送してまいりました毎週土曜日午前5時35分からの「西本願寺の時間」は、2022年9月末をもって放送終了となります。

また「高岡教区及び富山教区が主催し「北日本放送（KNB）」にて放送しております毎週日曜日午前6時からの「西本願寺の時間」は、今後も放送いたします。

西本願寺では「動画配信サイトを設置し法話等を配信しております。ご視聴ください。」

<https://broadcast.hongwanji.or.jp/>

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋）10,000円

・1組（10袋）600円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内  
（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)

Fax. (0766) 21-5152

【西本願寺高岡会館10月の常例法座】

ご講師： 蟹谷 薫 師

（氷見組善念寺）

ご講題：『未定』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。